|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **会　議　録** | | | | | |
| **会議名** | **令和２年度　小国郷医療福祉あんしんネットワーク全体会(9月)** | | | | |
| **開催日時** | 令和2年9月30日(水) | | 1９:０0～20:４５ | **開催場所** | おぐに町民センター  南小国町自然休養村管理センター  その他参加者 |
| **記録者** | 小国町地域包括支援センター　池田 | | | | |
| **議題** | 1. | 自己紹介・前回のふりかえり | | | |
| 2. | 令和２年度の事業について全体会で検討 | | | |
| 3. | 各チームのZoomの会議開催について | | | |
| ４. | その他 | | | |
| **出 席 者** | あんしんネットワークチーム員 | | | | |

| Ｎo | 議　　題 | 内　　　　　容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | 自己紹介・前回のふりかえり | ●参加者の皆さんの自己紹介  ●前回のふりかえり  ・令和２年度のテーマ「withコロナ時代のネットワークのあり方」に向けて、残り７か月間でできることを提案した。 |
| 2 | 令和２年度の事業について全体会で検討 | ●ひとよこいチーム（春草苑：秋吉さん）  ・ひとよこい開催にあたって、マニュアルを作成した。  ・間仕切りを悠工房に依頼している。  ・感染拡大を防止するには、どのようにしていくか、厚生労働省の「認知症とコロナ対策」を参照するなど調べているところ。堀江先生にも相談していく。  ・カフェを開催するにあたり、人数の制限を設けるため事前予約は  事務局の悠清苑で受付をするようになった。  ・各デイサービス事業所で行っている感染対策について  　≪みどりの里≫  間隔を開ける。  食器を消毒して乾燥をする。送迎車に乗る前に消毒、体温測定を行う。  　≪みなみだ荘≫  　　疑わしい状態がないか確認する。  食事の際は、間隔を開けて、向かい合わせにならないようにしている。  ≪リスタ≫  　　　送迎車に乗る前に確認して、あとは通常通りの対応を行っている。  ＜参加者より＞  ・熱があった方が、カフェに来られたときには帰ってもらう方がいい。そのまま病院受診を勧めてもらってもよい。 |
| 2 | 令和２年度の事業について全体会で検討 | ●出前講座チーム（甲斐田先生）　※当日資料あり  ・最近では、ラインアプリを使ったリモートが使用できると聞いているので、活用していけるのではないか。  ・今月からあんしんネットワークで使えるようにZoomをアップグレードした。  ・出前講座で、リモートを使えるようになるために操作方法を教えてもらう講座を開くのはどうか。  ・出前講座を開くにあたり、どういう専門職がいて、どういう講座が開けるのかを整理する（資源整理）。  ＜参加者より＞  ・参加者は集会所に集まっているのに、講師がリモートで画面上にいるというのは、本末転倒だと思う。今の感染症対策で、どうやっていくかをまずは考える必要があるのではないか。  ・Wi-Fi環境の整備も必要になる。  ・ひとよこいで、ネットワークの出前講座の講師に来てもらえないか。  ⇒ひとよこいに講師派遣は可能。感染症対策をしっかり考えてからになる。  ●予防チーム（松田先生）  ・健診結果や元気クラブなど、郷内で実施している予防事業に関するチラシかパンフレットを紙媒体で作成する。相談窓口を載せる。  ・パンフレットなどを作成するのであれば、予算がいるので話をしておく必要がある。  ・今後、各事業所にアンケートを依頼するので協力をお願いしたい。  ・町の健診データと病院のデータをつなぎ合わせて考えていくことができればと思っている。個人情報もあるので、行政にも入ってもらえないかと考えている。  ●美鳥チーム（公立病院：佐藤明さん）  ・チームでの会議は行っていない。  ・課題として、チームがどのように向き合うのか、フォーラムはオンラインでできるのか、エンディングノートの普及状況、アンケートの作成などがある。  ●在宅医療サポートチーム（片岡先生）  ・令和２年度の事業計画の変更  ・看取りシステムの活用  ・Withコロナ時代の在宅医療サポートセンターの在り方  ・訪問診療の質と量をあげる。  ・訪問診療の量を可視化する。  ・おぐチャンなどで、訪問診療の実際の現場を放送する。  ・グリーンハートおぐにでは、看取りを行う予定はない。（決まっていない。）  ・今後、看取りは増加すると考えている。  ＜参加者より＞  ・令和元年度のフォーラムのDVDが30～40枚余っている。ほっとオレンジは150部くらい余っている。配布はどうしたらよいか。⇒ある程度数がないと、配布できないので、増刷したいと考えている。（予算計上済み） |
| 2 | 令和２年度の事業について全体会で検討 | ●広報チーム（片岡先生）、デジタル化推進チームの立ち上げ  ・フェイスブックやホームページで活動報告  ・今後は、YouTubeチャンネルの開設を検討し、ひとよこいの講話や、会議を流す。  ・Zoom会議のチーム支援  ・オンラインフォーラムのシステム構築  ・ほっとオレンジ作成の時に校正に参加してくれた方は、広報チームに加入して欲しい。  ・各チームのIDを作って、ホストがいなくても、チーム会議ができるようにすることを今後検討していく。  ●情報共有チーム（公立病院：佐藤直さん）  ・オグシスの運用に向けて動いていきたい。  ・利用者の登録は進んでいるが、事業所の登録が進んでいない。  ・１１月～１２月のうちに、連絡協議会を開催したい。  ・小国公立病院と、小国調剤薬局で、20名くらいモデル事例として共有しようとしている。  ・同意書が戻ってきていない人は、ケアマネージャーより説明を行っていただきたい。  ・現在は、KMN400名、オグシス141名、12事業所が登録している。  ・ケア情報シートも、PDF化して、オグシスに載せようと考えているので、協力をお願いする。  ・利用するにあたってのハードルは、どういう風に動いていくのかがわからないからではないか。  ●総務チーム（小国町社会福祉協議会：佐藤事務局長）  ・あんしんネットワークの予算が、170万円ほどある。  ・パンフレットなどの印刷は可能であるので、何かあれば相談をしてほしい。  ・今年度のフォーラムの予算が50万円ほどあるので、なにかできないか？  ・案として、上限付きで通信機器の助成でタブレットの購入などができればと思っている。（寄付金が61万円ほどある。）  ＜参加者より＞  ・予算というのは、ネットワーク内での予算だと考えているが、来年度以降は社会教育からの予算をとって、設備等各集会所に設置するなどができるのではないか。  ・予算については、社協や行政にはアンテナを張ってほしいと思う。  ⇒民間向けの予算の申請もあるので、あんしんネットワークからの申請になるのではないかと思う。  ⇒町全体として、補助金を取っている。アンテナを張っていきたい。  ・ひとよこいの会場について、雨漏りで屋根や畳が傷んでいるので修繕をしたいがどうしたらいいか？⇒所有は公立病院であるが、ネットワークで使用しているので、あんしんネットワークで修繕することは可能。  ・準備などが大変であるため、人件費をとって、通信関係に詳しい人を雇用するのはどうか？⇒あんしんネットワークの負担金は運営にあたってのものであるため、使用はできると思うが、町として今この場で回答はできない。  ⇒県から無料で派遣してもらえる（キャラバン隊）ものがあったと思うが、そういうのを活用できたらいいのではないか？  ●旧事例検討チーム（南小国町包括：穴井さん）  ・事例検討チームで新しいことをしていこうとしていたが、個人情報のこともあるので、難しい。事例検討チームとして集まったので、今後はチームを解散して、他のチームにそれぞれ入ることになった。  ・新しくチームに加入するには、事務局に報告するか、片岡先生よりメールを送るので、それを使用してチームに加入する。 |
| 3 | 各チームのZoom会議開催について | ●Zoomをアップグレードしたので、来月までには各チームのアドレスを作成し、会議ができるようにしたいと思っている。 |
| 4 | その他 | 特になし |